

新たな地域医療構想における医療機関機能 についての意見交換に係る事前アンケートの回答 (島しょ)

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの回答

島しょ地域特有の制約や実情を踏まえながら、既存の体制に捉われることなく、今後の体制の充実・強化の視点から、特に強化したい医療機関機能や本土医療機関との連携のあり方について、各島のご意見をお聞かせください。

島名	回答
大島町	入院中の患者様の治療が終わって療養先を決めるにあたって、支援できる家族がいないなどで連携・調整に手間取っています。大島では経管栄養等になると施設や在宅に戻すこともなかなか出来なくなっており、内地の療養施設との調整ができるまでの間、入院が長引くことになります。患者様のためにもケアが手厚い適切な環境の療養先を早く見つけたいところです。何か有用な手立てはないもののでしょうか。
利島村	小離島では機能を強化する以前に人員の確保が最優先の課題であり常に急な退職により十分な引継ぎを行えずに職場へ配置されることも多いため、連携・機能の強化を図るにあたっては仕組みがシンプルなものでないとな運用が困難になる可能性が高いと思われます。本土医療機関専門医師とのケース相談を気軽に行える体制づくりやその際に正確な情報を共有できるよう電子カルテのクラウド化による共有を行うなど、診療をサポートする仕組みが構築できるとよいように思う。
新島村	マンパワー不足による業務の偏りが問題となっている。残された職員への業務負担が増加し、解消のめどが立たず不満となり離職へつながる。 医師については、東京都の派遣や大学病院との委託契約等により充足しているが、技師や看護師等の医療職員で、数日ではなく最低でも数カ月から年単位での派遣があると非常にありがたい。 いろいろな制度や取り組みも人員あつてのもの、本土医療機関からの人員支援を希望。
神津島村	内地医療機関で受診した記録の診療所への確実な情報共有（診療情報提供書やMRIなどの画像所見）。診療所で情報がなく対応に困ることがある。遠隔専門診療の導入の検討。島では実施していない小児科専門診療や頻度の少ない眼科など。（但し受診料、保険適用の問題などの課題がある。）
八丈町	診療支援として配備された5G基地局を活用したオンライン診療
御蔵島村 三宅村 小笠原村	意見なし。
広尾病院	本格的な少子高齢化、人口減少局面に入った現在、島しょ医療機関における専門人材の確保は困難を増している状況である一方、都内医療機関においても働き方改革等の影響により、現水準以上に専門人材の派遣が困難となる恐れがある。そのような状況下で医療需要に継続的に対応するには、これまでの人材派遣の取組のみならず、最新テクノロジーを使用した遠隔診療（5G、オンライン診療）の拡大を強化し、島しょ及び内地医療機関双方に負担が少ない形での医療提供体制の構築が必要であると考えます。